令和６年度東京都立中央ろう学校　中学部年間指導計画

学　　部	中学部	学　　年	３	週時数	４
教科	英語	グループ名	SG1		
ねらい	・外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、また読むことや書くことなどの指導を通して、実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。 ・習熟度別学習グループの利点を十分に生かし、高等部に進学し、さらに大学進学までつながる英語の力を身に付けさせる。				
担当教員	砂川　菜摘				
年間授業時数	１４０				
使用教科書	東京書籍『NEW HORIZON English Course３』				
副教材等	NEW HORIZON 3 基礎の確認（東京書籍）、英語のたてよこドリル３年（正進社）、中３英語をひとつひとつわかりやすく（学研教育出版）、自作教材（プリント等）、サマーアプローチ（学研）				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫 配慮事項
前期	4	Unit0 Unit1	１１	新しい文の形・意味・用法を理解し、あるテーマについて書かれた文章の内容を読み取ったり、書いたりする技能を身に付ける。 ・受け身 ・現在完了形の経験用法／ＳＶＯＣ（Ｃ＝形容詞）／ＳＶＯＯ（that 節）	・文法項目やキーワードは文字カードを作成し、ホワイトボードに貼って示すことで理解の定着に繋げる。 ・板書をするときは英文と訳文を視覚的に理解しやすいように、上下に提示する。 また、主語、動詞などの品詞を分かりやすいように色分けして提示する。 ・新出文法や本文を示すときには、状況を理解しやすいように、写真やイラストまたは動画などを示す。 ・電子黒板、デジタル教科書、PC、DVD（字幕＜日本語・英語＞）やホワイトボード等を活用した授業を行う。 ・学習内容の定着を図るため、授業内での練習問題、小テストを適宜行う。 ・週末課題では副教材を使用し、家庭学習を定着させる。副教材はすべて年度内に終了させる。 ・生徒一人一台端末を、ロイロノートで英作文や授業導入で活用し、カフートで毎回の授業の復習をグループ内で問題を解き競い合いながら確認する。
	5	Unit2 Grammar for communication1	１４	新しい文の理解をもとに、現在まで続いている状態や動作について理解したり伝えたりする技能を身につけている。 ・現在完了形の完了用法・継続用法／現在完了進行形 ・現在完了形や現在完了進行形を用いて，これまでの経験や，過去から現在へとつながる状態や動作を伝える技能を身につけている。	
	6	Unit3 Grammar for communication2	１３	新しい文の理解をもとに、自分たちにとって大切なことやだれかにしてほしいことついて伝え合う技能を身につけている。 ・It is …(for+人)+to~.／want+（人など）+to~／let[help]+（人など）+動詞の原形 ・不定詞を用いて，人にしてほしいことや，人にとって大切なことなどを伝える技能を身につけている。	
	7	Stage Activity1 Let's Read1	１２	・Unit 3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに，物語の流れに沿って場面の変化や登場人物の心情を読み取る技能を身につけている。	
	9	Unit4	１２	新しい文の理解をもとに、どこにあるか，どのように行動するかなどを伝え合ったり、言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。 ・間接疑問文／ＳＶＯＯ（what 節）／分詞の限定用法と後置修飾	
後期	10	Unit5 Grammar for communication3	１４	新しい文の理解をもとに、言葉に詳しい情報を加えて説明する技能を身につけている。 ・名詞を修飾する文／関係代名詞 who,that[which]（主格・目的格） ・後置修飾を用いて，情報を加えて説明する技能を身につけている。	
	11	Unit6	１５	新しい文の理解をもとに、現実とは異なる願い事や架空の話などを伝える技能を身につけている。 ・仮定法／主語を説明する関係代名詞を用いた文	
	12	Grammar for communication4	１３	・仮定法を用いて，願いや現実とは異なることを伝える技能を身につけている。	
	1	Let's Read2	１２	・長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに，エネルギー問題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	
	2	Let's Read3	１４	・メッセージを伝える文章の構成の理解をもとに，生き方について書かれたスピーチの原稿を読み取る技能を身につけている。	
	3	まとめ	１０	・中学英語で習得すべき単語、熟語、文法を理解し、総合的に活用することができる。	

令和６年度東京都立中央ろう学校　中学部年間指導計画

学　　部	中学部	学　　年	３	週時数	４
教科	数学	グループ名	SG1		
ねらい	・数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解する。 ・数学的な表現や処理の仕方を習得する。 ・数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方の良さを知る。 ・数学で学んだことを進んで活用する態度を育てる。 ・応用問題にも積極的に取り組み、より高い実力を育成する。				
担当教員	熊田　隆弥				
年間授業時数	１４０				
使用教科書	教育出版「中学数学３」				
副教材等	正進社「数学の学習ノート３年」 日本教育出版「毎日の計算トレーニング BOOK3」				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫 配慮事項
前期	4 5	式の計算	25	○単項式と多項式の乗法，除法 ○多項式の乗法 ○乗法の公式 ○因数分解 ○乗法の公式を利用する因数分解 ○式の活用	・カードや模造紙等の視覚的情報を積極的に活用して、見やすく構成された板書にする。 ・情報機器を活用する。(電子黒板・デジタル教科書・ＰＣなど) ・日常生活の例を挙げ、興味・関心を高めるように支援する。 ・学習の定着を図るため、宿題や練習問題・小テスト等を適宜取り入れる。 ・授業後に学習内容が自ら確認できるようなプリントやノート作りを行う。
	6	平方根	15	○2 乗すると a になる数 ○有理数と無理数 ○平方根の乗法，除法 ○平方根の加法，減法 ○平方根のいろいろな計算 ○平方根の活用 ○近似値と有効数字	
	7 9	2 次方程式	24	○2 次方程式とその解 ○因数分解による解き方 ○平方根の考えによる解き方○2 次方程式の解の公式 ○いろいろな 2 次方程式 ○2 次方程式の活用	
後期	10 11	関数$y=ax^2$	24	○関数$y=ax^2$ ○関数$y=ax^2$のグラフ ○関数$y=ax^2$の値の変化 ○関数$y=ax^2$の活用 ○いろいろな関数	
	12 1	相似な図形	20	○相似な図形 ○三角形の相似条件 ○三角形の相似条件と証明 ○三角形と比 ○中点連結定理 ○平行線と線分の比 ○相似な図形の面積 ○相似な立体の表面積と体積 ○相似な図形の活用	
		円	10	○円周角の定理 ○円周角の定理の逆 ○円周角と弧 ○円周角の定理の活用	
	2	三平方の定理	12	○三平方の定理 ○三平方の定理の逆 ○平面図形への活用 ○空間図形への活用	
	3	標本調査	10	○母集団と標本 ○母集団の数量の推定 ○標本調査の活用	

令和６年度東京都立中央ろう学校　中学部年間指導計画

学　　部	中学部	学　　年	３	週時数	３
教科	国語	グループ名	SG１		
ねらい	・国語を適切に表現し，正確に理解する能力を育成し伝え合う力を高める。 ・思考力や想像力を養い，言語感覚を豊かにし，国語を尊重する態度を育てる。 ・表現を吟味して文章を読み書きする力を高める。				
担当教員	橋本明美				
年間授業時数	１０５				
使用教科書	「伝え合う言葉　中学国語３」教育出版「中学書写」教育出版				
副教材等	「国語便覧」浜島書店、「楽しく学ぼう！すらすら基本文法」浜島書店、「基礎の学習　国語３年」新学社、「漢字の学習」教育出版、「サマーアプローチ国語３年」教育同人社、「中学基礎がため 100%できた！中３国語［読解編］」くもん出版、国語辞典、電子黒板、自主作成プリント等				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫 配慮事項
前期	4	「春に」 「立ってくる春」 毛筆書写	8	・言葉の中の春を読む。詩の技法を理解する。 ・文章の種類を踏まえ、展開の仕方に着目し筆者の考えを捉える。	・電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。 ・考えたこと、思ったことを文章で表現する機会を多く設定する。 ・ICT 機器の効果的な活用を図る。 ・ワークシートを活用し、情報の整理を図る。
	5	「なぜ物語が必要なのか」 「私」 「文法」助詞	9	・知識や経験と結び付けて文章を読み、評価する。 ・作品を読み、人間、社会などについて考え、自分の意見をもつ。 ・助詞のはたらきについて理解する。	
	6	「薔薇のボタン」 「メディアリテラシーはなぜ必要か？」 「漢字の広場１」 「漢字の広場２」	１２	・文章を読み、知識を広げ、自分の考えを深める。 ・メディアの情報を主体的・批判的に読む視点を身に付ける。 ・漢字の音の歴史についての理解を深める。 ・熟字訓についての理解を深める。	
	7	「一言でまとめ一言から話す」 「説明文を書く」 硬筆書写	7	・まとめる言葉と具体的な体験などの関係について考え、表現を共有する。 ・読み手に説明するために構成を工夫する。 ・社会生活で必要な知識や技能を身に付ける。	
	9	「ＡＩは哲学できるか」 「async」 「批評文を書く」	１１	・「哲学」など筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ・事例と主張とを関係づけて読む。 ・伝えたいことを明らかにし説得力のある文章を書く。	
後期	10	「文法」助動詞 「問いかける言葉」 「旅への思い」	１１	・助動詞のはたらきについて理解する。 ・文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ・「おくのほそ道」を歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	・電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。 ・考えたこと、思ったことを文章で表現する機会を多く設定する。 ・ICT 機器の効果的な活用を図る。 ・ワークシートを活用し、情報の整理を図る。
	11	「和歌の調べ」 「風景と心情」	１１	・和歌の技法や歴史的背景を踏まえ、和歌を味わう。 ・漢詩の歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え心情を理解し考えを深める。	
	12	「最後の一句」 「俳句の味わい」 毛筆書写「書き初め」	9	・森鷗外の作品にふれ、近代の小説や物語を読む。 ・俳句の言葉の意味を掘り起こして読む。 ・新年に書きたい四字熟語等を選び、行書で書く。	
	1	「初恋」 「故郷」	9	・文語定型詩を読み味わう。 ・理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で意識的に使用する。	
	2	「バースデイガール」 「青春の歌」	9	・語りの特徴に注意しながら読み、考えを交流する。 ・さまざまな文章に触れ、今後の読書生活に生かす。	
	3	書写 「スピーチをする」	9	・身の回りの多様な文字に関心をもち、書写の学習を深める。 ・中学部生活で学んだことについて、スピーチ原稿にまとめる。	